

みつぎ便り

見次の会

板橋区役所みどりと公園課の花づくりグループと
エコポリスセンターの環境観察員地域自主活動グループに
所属しているボランティア団体です

101号
2月号

平成27年2月1日

<http://itbs-ecopo.jp/projects/environsurvey/2015/000253.htm>

ラナンキュラス



公園入口の丸い石造りのマンホールプラントーにひととき華やかに春を彩る八重咲きの赤と黄とピンクの華麗な花がお出迎えしてくれています。幾重にも重なることから万重咲きとも呼ばれる豪華な花がひととき目を引きまします。濁りのないクリアな花色、浅裂し切れ込んだ深緑の葉が一層花色を引き立たせています。

十三世紀トルコの宮廷でこの

花が好まれ、その後ヨーロッパへ拡がり、約八百の品種が誕生しています。その後、日本でも品種に手を加え「ビクトリア・ストレイン」という、巨大輪の豪華な形が生まれて以来、ラナンキュラスの人氣が一気に沸騰したと思われています。



ムラサキラベンダー

なんと響きの良い名前でしょう。『シソ科』に属し、香りは香料や調理にも利用されています。北海道富良野地方では、香料、精油の原料として栽培されましたが合成香料に押され、今



では観光資源として栽培されています。テレビドラマ『北の国から』などで広く知られるようになりましした。また、『紫』という色も、英国ではロイヤルパールの呼ばれて尊ばれ、日本でも聖徳太子等が定めた『冠位十二位』では、最高位の色とされています。

見次公園内では、南側入口の円形花壇と、ポート小屋横の四角い花壇の中央に植えてあります。宿根草なので大切に育てて、毎年、皆さんに楽しんでいただければと、こまめに手入れをしています。寒さの厳しい時期ですが、チューリップも一ヶ月程、芽を出してきました。

上着を一枚多く重ねて、春の芽たちと一緒に、この冬も元気で過ごしましょう。

(静)